

# そうじの力だより

VOL.219



## 支援レポート

視点を変えれば、職場環境は劇的に良くなる！  
「従来が本来」ではなく、白紙で理想を考える

群馬県藤岡市の株石井工機。創業五七年、現在の社長が四代目という、社員四〇名の工作機械の製造業です。昨年暮れに、共通の知人の紹介で、私に支援の依頼が来ました。

当初、石井安美社長は、資材倉庫が手狭で、何か良い収納方法はないかとお悩みになっており、それについてのサポートを要望されていたそうです。しかし、私の著書を読んでもくださり、資材倉庫だけでなく、全社的な整理・整頓・清掃の活動について支援してほしい、ということになりました。

私の見立てでは、どの部門も、モノが多すぎるといえる。ところが、一番の問題点でも、ちろん使わぬものであればいいのですが、おそろく使わないと思われるものが大量にある状態でした。

つまり、これらを何とかして収納しようとするのではなく、不要なものを捨てることで、多くの問題が解決するはずなのです。作業性や品質や納期なども、もっと向上するでしょう。

さっそく、各部門からメンバーを選



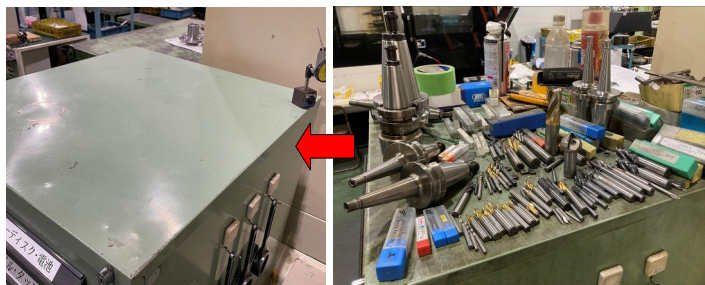
皆で協力して要不要を判断し整理する

抜いて、委員会を組成。毎月第一金曜日の午前中を、整理・整頓・清掃の活動日と定め、取り組みをスタートさせました。

まずはとにかく、使わないものを捨てることに集中します。

たとえば、加工工場。材料に穴を開けるための各種のドリルがたくさんあるのですが、よくよく検分してみると、現在では使わなくなった古いタイプのドリルや、刃が摩耗して使えないドリルなどが、たくさんありました。それらを捨てていくことで、当初あふれていたものは、スッキリとなくなり、収納ケースそのものが不要になったところもありました。

営業や設計、そして総務が執務する事務所も、当初は書類の山でした。過去の図面がズラリと並んでいるので



整理してすっきりかんに

棚の上にあふれていたドリル類

すが、中には、既に該当の機械そのものがないものもありました。これらを捨てると、図面の収納棚を増やす必要がなくなりました。そして、困っていた資材倉庫。鋼材などは、仕入れたものの、何らかの理由で使われなかったものや、余ったものが積み上げられています。何かに使えるかもしれないということで、ストックされていたわけですが、結局、スペースを食うばかりで、使う場面がないのです。



捨てることで広いスペースが生まれた



たくさんの材料をストックしていたものの...

識が、「今までこうやってきたから」という、現状を基準とするあり方です。しかし、そういった先入観を排して、「そもそもどうなんだ？」と問うてみると、実は今までのやり方に問題があった、ということに気づくことができます。

実際、整理が進んで、各所でレイアウトを変え、動きが出てきています。従来のやり方にとらわれず、白紙の状態であるべき姿を考えると、全く違うレイアウトが思い浮かぶのです。



「そもそもどうなの？」という話し合い

つまり、整理・整頓とは、単に場がキレイに整い、動きやすくなるだけでなく、こうした発想の転換、つまり頭を柔らかくするための「頭の体操」でもあるのです。

それにしても、同社の社員さんたちは皆、素直で前向きで明るい人たちが、積極的にアイデアが出て、どんどん活動が進んでいます。

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。





# コラム

## ビッグモーター不正問題と環境整備② 「やり過ぎた」のか？

前号に引き続き、ビッグモーター問題を、さらに深掘りしてみたいと思います。

店舗前の街路樹が勝手に伐採されたり、植え込みが除草剤で枯らされたりしたことについて、ある人が「環境整備をやり過ぎたんだね」と言っていました。

果たしてそうでしょうか？

答えは、「NO」です。「そこそこ」ならば良くて、やり過ぎはいけない、というような、程度問題ではないのです。

たとえば、街路樹をキレイに保つために、週に一回、剪定をしたとしましょう。あるいは、植え込みを美しく保つために、毎日草むしりをして、こまめに刈り込みをした場合はどうでしょうか？

その地道な努力たるや、すごいものですが、何ら批判されるようなことではありませんか。

だから、「やり過ぎ」というような見方は、まったく的外れなのです。

では、いったいB社の環境整備は、何が問題だったのでしょうか？

根本は、「世の中の役に立つために」やっているかどうか、でしょう。

B社においては、目の前にある街路樹がボサボサにならないようにすることが至上命題でした。植え込みに雑草が生えないことが、何よりも重要でした。

そうしなければ、環境整備チェックで「X」がつき、減給や降格といったシビアなペナルティが待っているのですから、仕方ありません。

そこには、「役に立つことかどうかな？」という観点はありません。違法だろうと、倫理的に問題があるろうと、そんなことは関係ないのです。

一方、私たちの考える環境整備とは、「世の中の役に立つ」ために行うものです。

だから、街路樹を整える方法はいくつもありますが、その中で、「これを行うことが、世の中の役に立つはずだ」という観点で、方法を選択します。

必然的に、手作業での刈り込みや草むしりということになるでしょうが、場合によっては、部分的に除草剤を撒くこともあるでしょう。

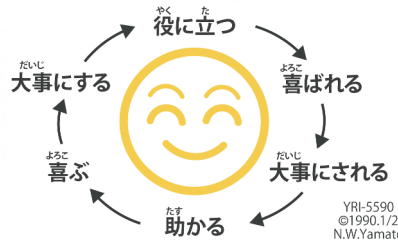
街路樹や植え込みは、空気をキレイにし、見た人の心を癒すために存在するはずで、

街路樹や植え込みを、より良い状態に保つための努力は、きつと地域の人たちに喜ばれ、感謝され、どこかで返ってくることでしょ

つまり、「世の中の役に立つ」ために行う環境整備は、社内のみならず、地域社会にも、「ここにサイクル」を回していくものなのです。

企業経営そのものを、「世の中の役に立つ」行為だと認識すること。この当たり前前

### ここにサイクル



## 編集後記

### エアコン狂想曲

格別に暑い今年の夏。その真ただ中、わが家のメインのエアコンが壊れてしまいました。修理依頼したところ、来れるのが10日後とのこと。

やっと来たと思ったら、高い所に設置してあるので、足場がなく、今日は修理できない、と言われ、あらためて日取りを約束したものの、その日も台風が来てキャンセル。そんなこんなで、故障から約一か月半経った今でも、エアコンは壊れたまま。

その間、ウチの家族は寝苦しい日々を耐え忍び、すっかり遅くなりましたとさ・・・？ (小早)



## 飛鳥のつばやき

### ラン活

長男は来年1年生。ランドセルいつ買うかな～とポーっとしていたら、「そろそろ買わないと選べなくなる」という噂が入り、急いで買いに行きました。

6年間毎日背負う、大事な相棒になるであろうランドセル。

色・柄など、長男のこだわりがあると、展示場に行ったところ、まっつっつっつたく興味がないうで、最初に見たもので「これでいい」。

ラン活、一瞬で終了したのです。(大概)



## 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、  
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！